

岡山東 週報



Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

2020-21年度 岡山東RC 活動方針

『一心(いっしん)、心をひとつにして奉仕しよう』

岡山東RC 会長 諸 國 眞太郎

会長	諸 國 眞太郎	幹事	松 本 崇
会長 エレクト	高 山 眞 司	副幹事	大 塚 学
		S.A.A.	菅 野 正 則
副会長	三 垣 日出人	副S.A.A.	高 橋 憲 志



岡山東ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 / 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 木材会館4F
TEL. 086-222-9590 FAX. 086-224-4288
http://www.okayama-higashi-rc.jp/ E-mail oke@ok6rc.jp

例会場 ● 岡山プラザホテル 〒703-8256 岡山市中区浜2-3-12 TEL.086-272-1201
例会日 ● 木曜日 12:30~13:30

2020.12.24 第2484例会

No.2316

▶本日のプログラム

新型コロナウイルス感染予防のため、
例会時間短縮で卓話は取りやめ。

1月7日のプログラム

「お祝い行事」
「年始のご挨拶」 諸國眞太郎会長

●12月31日は例会休会(定款第7条第1節による休会)

例会報告 (12/17)

出席報告

会員数 99名(内出席免除者22名)
出席者 69名(内出席免除者出席11名)
出席率 78.41%(前々回訂正後出席率98.98%)
ビジター 0名

お 食 事

有頭エビフライ、サラダ、スープ

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

ここ数日来、本格的な冬が到来しました。例年なら「インフルエンザに気をつけましょう」と申し上げるところですが、今年は「『新型コロナウイルス感染拡大予防』の観点からの新しい生活様式を実践しましょう」と申し上げておきます。しかし、現在の状況下では誰もが感染するリスクを負っています。改めて感染者の人権を無視した誹謗中傷は今後とも慎みましょう。

さて、先月から日が暮れてから南西の空に見える二つの星に注目しています。木星と土星です。397年ぶりと言われる木星と土星の大接近という天体ショーで12月21日の日の入り後がチャンスです。今夜も、木星と土星に加えて三日月の3つの星が並ぶ様子が見られるとのこと。防寒対策をして夜空を見上げてみたらいかがでしょうか？

それでは、例会をお楽しみください。

幹事報告

1. 次週12月24日の例会は、12:30~13:30開催の通常例会となっております。夜間例会は中止ですので、お間違えの無いようお願いいたします。
2. 他クラブ週報を回覧いたします。

米山功労者表彰

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より米山功労者の方々に感謝状が届き、諸國眞太郎会長より授与されました。

●第3回米山功労者マルチプル
西本晃 パスト会長



●第2回米山功労者マルチプル
若林宣夫 会員



委員会報告

●青少年奉仕委員会 平井真也委員長

社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会合同事業になります、「希望の花火打ち上げ～子供たちの笑顔のために～」事業についてご報告させていただきます。

開催日時は、12月24日(木)20:00～岡山後楽園外苑南端、水辺のももくん像そばより実施します。(約3分間の打ち上げです)

本事業は、コロナ禍の密集を避けるため、事前告知なしのサプライズ事業とさせていただきます。尚、後日プレスリリースをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

●広報委員会 土岩剛志委員長

「ロータリーの友12月号」のご紹介をさせていただきます。

(横組み記事)

7ページ 世界のロータリークラブはどのように活動しているのか記事になっています。

12～21ページ 新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査について紹介があります。

21ページ 2021年ロータリー国際大会の開催地である台北の特集があります。

(縦組み記事)

4ページ 環境中の有害物質の健康に与える影響というタイトルでアレルギーや発達障害についての記事があります。

12月17日のプログラム

「ベートーヴェンの第九交響曲を貫く音楽」

ゼフィール合奏団 常任指揮者
小山洋治 様

ベートーヴェンは1770年の昨日、12月16日が誕生日で、今年で生誕250年になります。日本では12月はベートーヴェンの交響曲第九番ニ短調作品125(以下「第九」といいます。)の季節とされ、毎年全国で150回くらいも演奏されていますが、本年はコロナ禍で軒並み中止になりました。しかしベートーヴェンの生誕250年はまだまだこれからで、世界でもこれから演奏会やイベントが開催されることになるでしょう。

さて、第九といえば第4楽章の歓喜の歌を真っ先に思い浮かべることと思われれますが、この第4楽章の歓喜の歌は、実は第1楽章から第3楽章までの各楽章に関連するモチーフが出てきて予告されているのです。

第1楽章(Allegro ma non troppo, un poco maestoso, ニ短調, ソナタ形式)の冒頭を弾いてみます。ラとミだけの完全五度のトレモロの伴奏型にのって、導入部はラミ, ミラ, そして低い音でミラ, と落ち着く音型から入ります。このレミファソラのミとラの音程を四度(完全四度, 完全五度の裏返しとなる音型)と



いうのですが、この四度音程は神の摂理により自然音の中から拾い出された最も美しい音程として、神の音程と言われています。この導入部の神の音程が発展して荘厳な第1主題に至り、他方で第2主題が、第4楽章の「歓喜の歌」の音型に繋がっていくのです。

続く第2楽章(Molto vivace, 二短調)のスケルツォ主題もラとレの四度の、神の音程から始まり、すぐに歓喜の歌に繋がる音型に連なっていきます。そして第3楽章(Adagio molto e cantabile, 変口長調)の冒頭、木管楽器が神の音程を重ねて上がっていき第1主題、レーラー、シトファーと神の音程で下りていくように始まりますが、これが神の啓示のような美しい旋律になっているのは、四度の神の音程で成り立っていることに由来するといえます。

ベートーヴェンは、その時の流行を取り入れていくモーツァルトとは違い、神の音程を意図的に取り入れたものでしたが、この四度音程は、古くはパッヘルベルのカノンに行き着くもので、バッハのフーガにも取り入れられています。それをベートーヴェンが第九で四度の神の音程を正面から取り入れたことで、後々の作曲家が創作にあたって新規なメロディーを作り出すのに苦勞していきます。それでもブラームスの交響曲第2番ニ長調作品73では、バッハの教会音楽の作曲作法であるフーガが取り入れられているのですが、その中でも第4楽章の冒頭主題にはこの神の音程が取り入れられ、神の啓示の主題と言われる美しい楽曲となっています。

同じように、神の音程を取り入れた音楽として、マーラーの交響曲第1番ニ長調「巨人」があり、オーボエとファゴットの4度下降での神の音程から始まり、曲中でも郭公のさえずりのように幾度も響いてきます。

ベートーヴェンの第九の美しさや荘厳さは、かように緻密な楽曲構成と神の音程と呼ばれる完全四度による和声の支えによって成り立っているものなのです。

[文章提供：横田亮 会員]

ゴルフ同好会 第5回例会 (12/20)

12月20日(日)山陽ゴルフ倶楽部において、ゴルフ同好会第5回例会が開催されました。今回の参加者は総勢22名、スタート前に小雪の舞う寒い日でしたが更井ゴルフ同好会会長のご挨拶のもとスタートいたしました。

ラウンド中は気温が低い中でも晴れてゴルフ日和となりました、優勝は宗森秀成会員で、2位は舟橋弘晃パスト会長、3位に高藤祚嗣会員が入賞となりました。各賞に入賞されました皆さま、おめでとうございます。

次回第6回例会は2021年1月17日(日)岡山ゴルフ倶楽部帯江コースにて開催いたします。奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

ゴルフ同好会第5回例会	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝 宗森秀成 会員	43	49	92	25	67
2位 舟橋弘晃 パスト会長	47	46	93	17	76
3位 高藤祚嗣 会員	49	47	96	19	77



優勝 宗森秀成 会員



2位 舟橋弘晃 パスト会長

[文章・写真提供：宗森秀成 親睦活動副委員長]

今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください。